



2/19

第20回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」

中和小の児童が作成した防災マップが入賞



受賞した防災マップ



地域の防災や防犯をテーマに全国から作品を募った「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」(日本損害保険協会などが主催)で、中和小4年生が作った防災マップが「未来へのまちづくり賞」を受賞しました。7人全員の力によって生み出された作品は、授業で学んだ知識や地域の特性、台風での経験、関係機関へのインタビューを交えて作られています。受賞を喜んだ児童は「今後も防災を学びたい」と話していました。

2/25

旭市津波避難訓練

震災の教訓を生かして、津波に備える

市内小・中学校や津波避難タワーなど22施設を会場に、津波避難訓練が開催。653人が参加し、災害が発生したときの避難ルートなどを確認しました。

メイン会場5か所では、救急救命訓練なども実施され、いざという事態に備えた応急手当ての方法を習いました。



①矢指小での救急救命訓練
②津波避難道路から避難
③三川津波避難タワー最上部



2/10

きれいな旭をつくろう 環境を守る活動を推進



表彰された江ヶ崎西町区婦人部

環境保全・美化を推進する第19回旭市環境衛生大会が東総文化会館で開催。地域の清掃活動に尽力された団体や個人、環境保全および美化の推進に関するポスター・標語コンクールで入選した小・中学生が表彰されました。

2/14

旭の農業を担う 新規就農者が抱負を語る



新規就農者と市長

市内の若手新規就農者を応援する「羽ばたくルーキー農業者激励会」が開催され、ブドウやキュウリなどを栽培する農業者が参加しました。就農のきっかけや仕事の感想などを発表し「農業を通して旭に貢献したい」と話していました。



旭市公式LINE



旭市公式フェイスブック



旭市公式Instagram



旭市公式YouTubeチャンネル



3/1

第19回防火ポスター展

小・中学生が火災予防の大切さを呼びかけ

火災予防の重要性や必要性を広く知ってもらうことを目的として、市内小・中学生による防火ポスター展が開催されました。

各学校から選出された169点の中から、旭市長賞(最優秀賞)に輝いた高橋虹七さん(萬歳小4年)、小久保遼馬さん(干潟小5年)、林航成さん(一中1年)、高木仁衣奈さん(干潟中2年)に賞状が贈られました。

左から
高橋さん、小久保さん、
林さん、高木さん



2/17

高層階での火災に備える
旭中央病院で総合消防訓練

はしご車で要救助者を救出

旭市消防本部が、旭中央病院、消防団と合同での消防訓練を実施しました。旭中央病院の5階で火災が発生したことを想定して、はしご車による救出訓練や放水訓練などを行い、もしものときの役割や連携を確かめました。

3/3

水神社永代大御神楽
いにしえより受け継がれる伝統の舞

猿田彦命(天狗)の演舞

後草地区の水神社で、県の無形民俗文化財に指定されている神楽が奉納されました。古式ゆかしい衣装に身を包んだ氏子衆や地域の子どもたちが、無病息災や五穀豊穡などを願い、伝統の舞を披露しました。

3/11

東日本大震災から13年
黙とうを捧げ犠牲者の冥福を祈る

3月11日、いいおかユートピアセンターにある慰霊碑の前に追悼献花場が設けられ、訪れた人たちが犠牲者に花を手向けました。地震発生時刻の午後2時46分に追悼のサイレンが鳴ると、参列者は黙とうを捧げました。



慰霊碑に献花する

3/11

小・中学校で「防災給食」
非常食を通じて災害への備えを学ぶ

震災の記憶がない児童・生徒の防災意識を高めるために、備蓄用の食品などを使った「防災給食」が小・中学校で提供されました。災害用の備蓄食品を食べる体験を通して、日ごろから災害に備えることの大切さを学びました。



「防災給食」を食べる飯岡中の生徒

3/13

18歳を迎える東総工生が
選挙の大切さを学ぶ

模擬投票で選挙の流れを体験

東総工業高校2年生を対象に、政治への関心を高めることと、投票方法などを学ぶための主権者教育が行われました。政治参加の重要性を学んだ後に模擬投票を体験した生徒は、一票の重みを感じながら投票を行いました。

議会に報告された寄付

※敬称略、順不同。

市内小学校の学校用備品として

大谷翔平／グローブ45個

古城小の学校用備品として

旭市古城地区社会福祉協議会／スカットボール2セットおよび公式ワナゲ3セット(20万円相当)

二中の学校用備品として

平野鐵三郎／ワイヤレスアンプ、チューナーおよびマイク一式(20万円相当)

干潟中・萬歳小・中和小・古城小の学校用備品として

干潟ライオンズクラブ／テント1張ほか学校用備品一式(38万円相当)